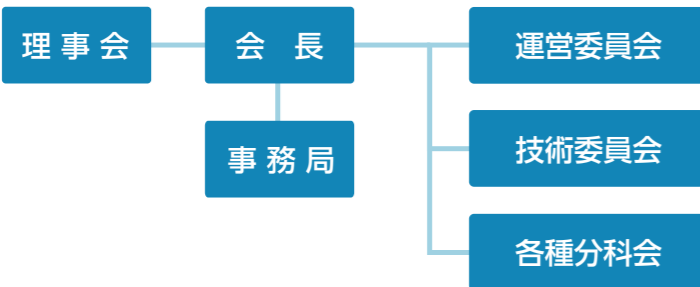


給水システム協会について

設立 昭和63年(1988年)4月

組織図



事業内容

- (1) 日本水道協会、水道事業者、給水設備事業者等の関係団体との連絡協調
- (2) 給水システムに関する調査・研究及び資料の収集
- (3) 給水システムに関する情報交換・各種講習会の開催、研究会への参画
- (4) 水道用給水用具の性能向上・標準化を目的とした給水システムに関する規格の制定やガイドラインの作成
- (5) このほか本会目的達成に必要な事業

会員会社

- 兼工業株式会社
- 株式会社キッツ
- 栗本商事株式会社
- 株式会社光明製作所
- 株式会社昭和螺旋管製作所
- 株式会社タブチ
- 株式会社テクノフレックス
- 名古屋バルブ工業株式会社
- 株式会社日邦バルブ
- 前澤給装工業株式会社
- 前田バルブ工業株式会社

(2024年3月時点 50音順)

活動

運営委員会

- ・協会の予算、決算、事業計画・実績等に関する方針決定

技術委員会

- ・給水システムに係る技術的課題の解決
- ・諸官庁、地方公共団体との連絡協調
- ・規格の制定および改正
- ・サドル付分水栓等の施工講習会実施
- ・関係団体との共同研究



専門研修・技術講習会



新しい時代にマッチした 給水システムづくり

給水システム協会は調査研究並びに
諸官庁、地方公共団体との連絡協調を図るとともに
給水システムにかかわる製品の規格化や
ガイドラインの作成を行うことで
新しい時代に適した給水システムの確立を目指して
活動を行っています。



●WSA B 011 (2018年制定)

水道用ポリエチレン二層管金属継手

過去の大規模地震における給水管路の被害報告を受け、継手の接合強度向上のためJWWA B116水道用ポリエチレン管金属継手に協会独自の耐震項目を追加し、耐震性能向上型として規格化しました。



●WSA B 012 (2020年制定)

水道用ポリエチレン二層管金属継手(コア一体型)

WSA B 011を踏襲し、会員各社で製造しているコア一体型(オリジナル品)についても耐震項目を追加し規格化しました。



●WSA B 013 (2020年制定)

水道用ポリエチレン二層管金属継手(ワンタッチ型)

WSA B 011を踏襲し、会員各社で製造しているワンタッチ型(オリジナル品)についても耐震項目を追加し規格化しました。



●WSA B 014 (2021年制定)

水道用吸排気弁

直結増圧給水方式の採用が増加する中、国内には必要吸気量の性能基準がなく、事業者が独自に設定したり、海外の基準を引用する状況であったことから、協会が独自に性能を規定し、適切な設置方法も加えて規格化しました。



●WSA B 015 (2023年制定)

水道用フレキシブル継手

これまでの製品規格や技術基準は廃版となり、一部の水道事業者が定める性能基準が現存するのみでした。協会は独自に給水分岐部の耐震性について実証実験を行い、有用な評価結果を得たことから耐震性能強化型を新たに規格化しました。



刊行物

給水システム協会発行図書一覧	刊行年月	給水システム協会発行図書一覧	刊行年月
直結給水に必要な逆流防止	平成6年6月初版 10月改訂	鉛レス銅合金及び表面処理の概要と技術情報	平成16年3月
逆流防止装置設置基準	平成7年6月	給水用具の維持管理(逆止弁、減圧式逆流防止器、吸排気弁)	平成16年11月
東京都の増圧給水にかかわる講演集	平成7年7月25日	水道用ポリエチレン管金属継手の接続性能向上の検証	平成28年11月
逆流防止装置設置基準 改訂第2版	平成9年3月	給水管分岐部に係る給水配管の耐震性評価報告書(給工財団共著)	令和4年3月
直結給水に必要な逆流防止 改訂第4版	平成10年10月	給水装置用具テキスト「給水装置技術」研修会資料	—
新版 直結給水と逆流防止装置設置基準	平成15年3月		

主な調査・研究

- 2017年
 - 省エネ型給水方式に関する委託研究
 - 直結給水における逆流防止システム設置のガイドラインとその解説*
- 2019年
 - JWWA B 116 水道用ポリエチレン管金属継手の施工不良の例とその性能評価*
- 2020年
 - 給水管分岐部(サドル付分水栓)に係る給水配管の耐震性評価と指標作成*

* 公益財団法人 給水工事技術振興財団の助成研究事業

会員企業取扱い品目
水道メーターを除く水道用給水用具でサドル付分水栓、継手、止水栓、逆止弁など